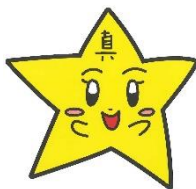




真陽



神戸市立真陽小学校
 長田区二葉町1丁目5-5
 TEL611-0456/FAX611-0457
<http://www2.kobe-c.ed.jp/sny-es/>

☆☆☆☆☆☆☆☆ 平成30年度 第2回学校評議員会より ☆☆☆☆☆☆☆☆

2月25日(月)、7人の学校評議員(うち代理2名)に参加していただき、第2回学校評議員会を開催しました。会の初めには、授業の様子も参観していただきました。評議員会で話し合われた内容と、評議員の方々にご協力いただいたアンケート結果をお知らせします。

30年度 学校評議員(五十音順・敬称略)

井口 雅夫(P T A)、井田 幸世(駒栄保育所)、今田 由美子(青少協)、川野 裕子(婦人会)、合田 昌宏(民生児童委員)、清水 嘉子(子ども会)、近田 和裕(保護士) 山本 豊久(ふれまち)

内 容

○教職員自己評価より

学習指導面では、32年度より始まる新しい指導要領に向け、朝の学習タイムの充実を目指して教職員全員で取り組んだこと。道徳や英語学習の指導法などを研修として取り組んだことなどを報告しました。また、生徒指導面では、「5つの『あ』」を合言葉に、安全で安心して過ごせるように頑張ってきたことをお伝えしました。

○保護者アンケート(音楽会アンケート)より

評議員の方々からは「年々、音楽のレベルが上がっているように思う。」「毎年楽しみにしている」といった意見が出されました。また、保護者アンケートで課題となった鑑賞マナーについては、「係の先生が一生懸命声をかけていた」「以前に比べれば、ましになっている」「大人なんだから、一人一人が自覚しないとイケない。」というご意見もいただきました。

☆平成30年度 学校評議員アンケート結果☆ 【評価は4点満点、()内は(昨年度)の結果です】

項 目	評 価
①学校の様子を、学校だより・ホームページなどで分かりやすく伝えている。	3.9 (4.0)
②子供たちは、楽しく登校している。	3.6 (3.7)
③子供たちは、あいさつをしっかりとっている。	3.4 (3.0)
④子供たちは、社会や学校のルールを守っている。	3.4 (3.3)
⑤学校は、清掃が行き届き、潤いのある環境となっている。	3.6 (3.7)
⑥学校は、子供たちにとって安全な環境となっている。	3.8 (3.7)
⑦学校は、学校の様子等を地域に開くことに積極的である。	3.9 (3.7)
⑧地域は学校教育を理解し、協力的である。	3.6 (3.3)

ほとんどの項目において3以上の高い評価をいただきました。
 この評価に甘えることなく、今後も努力していきたいと思えます。

最後に、『お気づきのことがあればご記入ください』では、次のようなご意見をいただきました。

- ・地域内外で大きな工事現場が続いているので、学校でも積極的に声をかけ、地域の安全につなげてほしい。
- ・地域の者として、微力ながら学校を支えていけるよう心がけています。
- ・学校のホームページには、行事などの写真がいつもアップされていて校内の様子がよくわかりますし、コメントが面白いので、見るのを楽しみにしています。真陽の先生方の仲の良さが伺えます。
- ・子供たちは地域の公園で元気に遊んでおり、その様子を楽しみにほほえましく見守っています。
- ・子供たちが遊んで帰った後、公園にお菓子の袋が落ちていることがあり、残念に思います。
- ・地域の行事のお手伝いをしていただける保護者が少なくなっており、このままでは運営が難しくなってしまうのではないかと危惧しています。

評議員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。

校長 東郷 潤治

平成30年度 全国体力運動能力調査の結果について

1学期に実施しました「全国体力・運動能力、運動習慣調査」の結果が、スポーツ庁より届きましたのでお知らせします。

5年生39人（7月12日時点）の実技調査の結果から、男女ともに、「握力」（筋力：力強さ）「反復横とび」（俊敏性：すばやさ）「立ち幅跳び」（筋力：力強さ）「ソフトボール投げ」（柔軟性・筋力：柔らかさ・力強さ）は全国、神戸市平均を上回り、さらに体力合計点でも上回りました。

一方で、20mシャトルラン（全身持久力：ねばり強さ）、上体起こし（筋力・筋持久力：力強さ・ねばり強さ）、長座体前屈（柔軟性：柔らかさ）に課題があることがうかがえました。

また、質問紙調査から、「運動やスポーツは大切なもの」と感じている割合は、男女ともに、ほぼ100%に達しています。運動することを大切に、大事だと思っていることは、体力調査でも結果として表れています。しかし、体育の授業の中で、「話し合う活動」や「課題を解決する活動」を「行っている」という回答は、全国、神戸市平均を下回っています。今回の調査結果をふまえ、「主体的で対話的な深い学び」の実現をめざし、体育学習の充実を図りたいと考えています。自ら考え、友達と関わり合いながら、自分たちで課題を解決する力をつけられるよう支援を続けます。その他にも、「いきいきタイム」や「休み時間」において、走跳の運動、鬼遊びの運動の機会を増やします。集う喜びを感じながら真陽の子供たちの「体力アップ」につなげていきたいと考えています。

ご家庭でも、「早寝・早起き・朝ごはん」と規則正しい生活を心がけていただくとともに、身体を動かす機会をより多く設け、健康と体力の増進にご協力いただきますよう、よろしく願います。

====平成31年度（来年度）に向けて====

学校では保護者の皆様から頂いたアンケート結果やご意見、評議員の方々のアドバイスなどを参考にしながら、今年1年の教育活動を振り返り、来年度に向けてよりよい真陽小学校にするための話し合いを重ねてきました。その内容をお伝えします。

教育課程について

英語(外国語)の学習 平成32年度より、学習指導要領が改訂（学校で教える内容が変更）されます。変更の大きなポイントの一つは「外国語(英語)」です。3・4年生に「外国語活動」が週1時間新設されます。5・6年生では、現在の週1時間にもう1時間が追加され、週2時間の「外国語」になります。そのため、今年度と来年度の2年間は、実施に向けて一部を追加しながら学習を進める「移行期」で、3・4年生は1年間で15時間、5・6年生は週に1時間の学習にさらに1年間で15時間の「外国語活動」授業がつけ加わっています。

おはようスタディ 増えた授業時間を確保するため、「おはようスタディ」の時間を1校時の前に15分間設定し、「漢字」や「言葉」の学習を中心に1年間を通して取り組んできました。これからも内容を工夫することで、子供たちの言葉を豊かにするとともに、増えた分の外国語の授業のための時間を確保し、ほかの教科の時間が不足しないようにしています。

31年度の時間割や生活時間 子供たちの時間割については、今年と大きく変わることはないとお考えいただけます。また、登校や下校の時刻も大幅に変更する予定はありません。

行事の精選 32年度から指導要領が全面実施されると授業時間数の余裕がほとんどなくなってしまうことが予想されています。さらに警報や学級閉鎖などで予定外の休みが増えてしまうと、1年間に定められた授業時数が不足してしまう恐れがあります。そのため、学校では行事や学習内容の見直しを繰り返し行っています。特に行事に関しては、真陽の子供たちにつけてやりたい力を見定め、思い切った削減や内容の変更が、ここ1～2年の内に行われることが考えられます。

学校環境の整備

トイレの改修 31年度中に北校舎1階から3階までのトイレを改修します。南校舎のトイレは一昨年改修しましたが、その時と同様に、洋式のトイレが増え、明るくきれいなトイレに生まれ変わります。

ICT学習環境整備 31年度中に全クラスの普通教室（なかよし学級を含む）に、電子黒板機能付プロジェクター、実物投影機、無線LANの設備が導入されます。これによって、煩わしい機材の移動や調整の手間が省け、いつでも図や表を拡大して表示したり、動画や写真を用いたり、子供たちの意見や作品をタイムリーに提示したりできるようになります。これを活用することで「わかる授業」を一段と推進していきたいと思えます。

トイレの改修もICT学習環境整備も正式な工事期間は未定ですが、決まり次第お知らせします。

夏の猛暑対策

1学期の終業式と夏期休業中の登校日 1学期の終業式は7月19日(金)です。子供たちの健康と安全を考え、全市的に終業式以降7月中は児童の登校を控えるように委員会からの通達がありました。そこで、例年、7月後半に行っていた授業日（1学期の復習やプール水泳、音楽の練習など）は行わず、8月の最終週【27日(火)、28日(水)、29日(木)】3日間の午前中、授業日を設定します。登校や下校の時刻、学習内容などについては、時期が近づきましたら詳しくお伝えします。